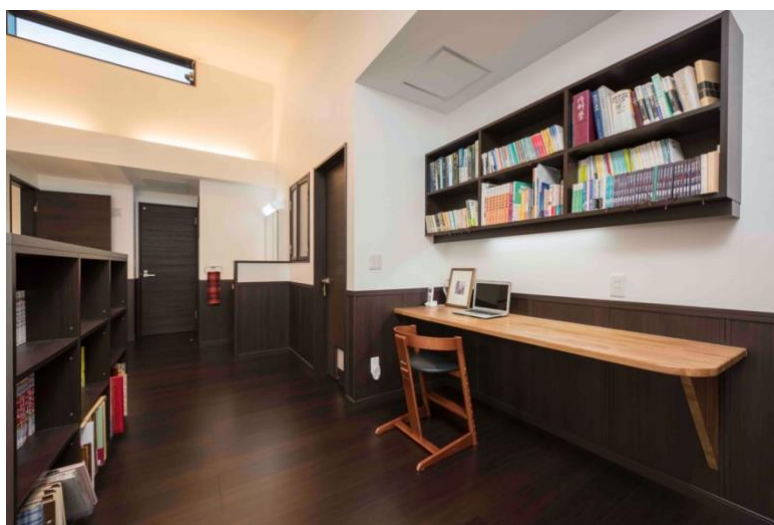


## 三人に一人が、在宅勤務を機に郊外への引っ越しについて前向きな回答 ご自宅に自分専用のワーキングスペースが欲しい方が77.6% 自宅のワーキングスペースに関する調査結果報告書

株式会社LIXIL住宅研究所では、現在週1日以上在宅勤務を行なっている男女の会社員を対象に、自宅のワーキングスペースについて実態と意識などについて調査を実施しましたのでご報告します。

なお、調査地域：関東近郊（東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、茨城県、栃木県、群馬県、山梨県、長野県）、有効回答：660、調査時期：2021年8月12日から8月19日です。



フィアスホームのワーキングスペースの施工事例

### ■調査結果について

- ・自宅に書斎などの自分専用のワーキングスペースで仕事をしている方が35.6%、リビングスペースで仕事をしている方が45.2%となっています。さらに、ご自宅のワーキングスペースが仕事をする環境として十分整っているか？との質問では、十分に整っている16.1%、整っているほうだと思う47.7%の計63.8%となっています。
- ・現在のご自宅のワーキングスペースについて、課題や気になることとして、「オンライン会議などの時に家族などに遠慮してしまう（声が入ってしまう）」28.3%、「書類などを収納する場所が少ない（無い）」27.7%などが上位となっており、ご自宅のワーキングスペースとして必要（改善したい）ことのトップは、「仕事に集中できるスペース」34.9%となりました。
- ・ご自宅に自分専用のワーキングスペースが無い方425名では、ご自宅に自分専用のワーキングスペースが欲しい方が77.6%。欲しいけれどご自宅に自分専用のワーキングスペースを持っていない（作ることができない）理由としては、「現在の自宅では、空間的にワーキングスペースを作る余裕がない」53.6%がトップになりました。
- ・このまま在宅勤務が続くとしたら、郊外への引越しも検討したいと思うかとの質問では、「すでに郊外への引っ越しを実施した」3.8%、「現在、郊外への引っ越しを検討している」9.1%、「できれば検討したいと思っている」21.3%となり、三人に一人（34.2%）が、在宅勤務を機に郊外への引っ越しについて前向きであることが判明しました。
- ・この前向きな方々では、郊外へ引っ越しする（引っ越した）際に、在宅勤務に関連して考慮する（考慮した）こととして、「専用のワーキングスペースの確保」47.9%、「業務時間外に気分転換が可能な自然が豊かなところ」46.2%となり、郊外へ引っ越しする（引っ越した）際、移転先の自治体の家賃補助・転入補助などに興味がある方90.6%に達しています。

報道関係者  
お問合せ先

(株)LIXIL 住宅研究所 マーケティング部  
千明 和彦(ちぎら かずひこ)  
TEL:03-5626-8251 携帯:070-5583-0039  
MAIL:kazuhiko.chigira@lixil.com

株式会社 LIXIL 住宅研究所  
本社:東京都江東区 代表取締役社長:加嶋 伸彦  
事業内容:アイフルホーム、フィアスホーム、GLホーム  
国内最大の住宅FCを展開

■調査結果(詳細)

- 1) 自宅のワーキングスペースは、書斎などの自分専用 35.6%  
 ▶ リビングスペース 45.2%、ダイニングスペース 25.3%

Q1. 在宅勤務時のあなたのワーキングスペースをいくつでもお選びください(MA) N=660

	実数	比率
書斎などの自分専用のワーキングスペース	235	35.6%
リビングスペース	298	45.2%
ダイニングスペース	167	25.3%
寝室など	160	24.2%
子供部屋など	60	9.1%
その他	13	2.0%

- 2) ご自宅のワーキングスペースが仕事をする環境として整っている方が 63.8%  
 ▶ 「十分に整っている」16.1%、「整っているほうだと思う」47.7%

Q2. 現在のご自宅のワーキングスペースは、仕事をする環境として十分整っていますか？(SA)

	実数	比率
十分に整っている	106	16.1%
整っているほうだと思う	315	47.7%
あまり整っていない	195	29.5%
全く整っていない	44	6.7%
全体	660	100.0%

- 3) 現在のご自宅のワーキングスペースについて、課題や気になること  
 ▶ オンライン会議中の声や書類などの収納スペース不足が上位

Q3. 現在のご自宅のワーキングスペースについて、課題や気になることをいくつでもお選びください(MA) N=660

	実数	比率
オンライン会議などの時に家族などに遠慮してしまう(声が入ってしまう)	187	28.3%
書類などを収納する場所が少ない(無い)	183	27.7%
ワーキング用のデスクや椅子を置くスペースが無い(机が小さい)	180	27.3%
ワークスペースが狭い	176	26.7%
モニターやプリンターなどOA機器を置く場所が狭い(無い)	153	23.2%
仕事に集中できるスペースでは無い	149	22.6%
外部の音がうるさい	142	21.5%
冷暖房が効かない(暑い・寒い)	100	15.2%
ワークスペースとして暗い(デスク用照明が無い)	98	14.8%
Wi-Fiなどの通信環境などが悪い(サクサクつながらない)	95	14.4%
電源が少ない	82	12.4%
重要データを保管する鍵のかかる場所が無い	74	11.2%
その他	14	2.1%
特に課題や気になることはない	121	18.3%

4) 自宅のワーキングスペースとして必要(改善したい)ことは、「仕事に集中できるスペース」34.9%

▶ 続いて、「環境音が少ない静かなスペース」28.6%、「ワーキング用のデスクや椅子を置くスペース」27.6%

Q4. ご自宅のワーキングスペースとして必要(改善したい)な項目をいくつでもお選びください(MA) N=539

※Q3で「特に課題や気になることはない」を回答した121名以外に質問

	実数	比率
仕事に集中できるスペース	188	34.9%
環境音が少ない静かなスペース	154	28.6%
ワーキング用のデスクや椅子を置くスペース	149	27.6%
テレビ会議などの時に家族などに遠慮しないで良いスペース	147	27.3%
独立した個室のワーキングスペース	146	27.1%
モニターやプリンターなどOA機器を置くスペース	141	26.2%
広いワーキングスペース	139	25.8%
書類などを収納可能なスペース	125	23.2%
通信環境などがサクサク繋がるスペース	117	21.7%
冷暖房など空調設備が整ったスペース	110	20.4%
光度が確保できる明るいスペース	99	18.4%
十分な電源が確保できるスペース	85	15.8%
鍵がかかり、重要データの情報漏洩を気にしないスペース	59	10.9%
家族で共有できるワーキングスペース	47	8.7%
その他	9	1.7%
特に必要なことはない	22	4.1%

5) ご自宅に自分専用のワーキングスペースが無い方では、77.6%が自分専用のワーキングスペースが欲しい

▶ 「絶対に欲しい」14.1%、「できれば欲しい」63.5%

Q5. ご自宅に自分専用のワーキングスペースが欲しいですか?(SA)

※Q1で、「書斎などの自分専用のワーキングスペース」を選択した235名以外の方に質問

	実数	比率
絶対に欲しい	60	14.1%
できれば欲しい	270	63.5%
あまり欲しくない	70	16.5%
欲しくない	25	5.9%
全体	425	100.0%

6) ご自宅に自分専用のワーキングスペースを持っていない(作ることができない)理由

Q6. 現在、ご自宅に自分専用のワーキングスペースを持っていない(作ることができない)理由は(MA) N=330

※Q5で、「絶対に欲しい」「できれば欲しい」を回答した330名が回答

	実数	比率
現在の自宅では、空間的にワーキングスペースを作る余裕がない	177	53.6%
リフォーム資金など金銭的な面で難しい	106	32.1%
ワーキングスペースのために、自宅のリフォームなどは面倒	103	31.2%
会社からのリフォームの支援金などが得られない	91	27.6%
このまま在宅勤務が続くとは思わない(=在宅勤務がなくなったら無駄になる)	52	15.8%
家族からの賛同を得られないと思う	47	14.2%
その他	4	1.2%
作ることができる(すでにリフォームに着手している)	11	3.3%

- 7)このまま在宅勤務が続くとして、すでに郊外への引越しをした方、検討したいと思う方が三人に一人  
▶すでに郊外への引越しを実施した3.8%、現在、郊外への引越しを検討している9.1%、  
できれば検討したいと思っている21.3%

Q7. このまま在宅勤務が続くとしたら、この際、郊外への引越しも検討したいと思いませんか？(SA)

※以前から郊外に住んでいる166名を除く、494名に質問

	実数	比率
すでに郊外への引越しを実施した	19	3.8%
現在、郊外への引越しを検討している	45	9.1%
できれば検討したいと思っている	105	21.3%
検討するつもりはない	295	59.7%
わからない	30	6.1%
全体	494	100.0%

- 8) 郊外への引越しを検討するつもりがない理由は、今の住まいや土地から移りたくないから

Q8. 郊外への引越しを検討するつもりがない理由をいくつでもお選びください(MA) N=295

※Q7で、「検討するつもりはない」の295名に質問

	実数	比率
現在の住まいから引越したくないため	110	37.3%
現在住んでいる土地から移りたくないため	90	30.5%
会社までの通勤時間が長くなるのがいやだから	85	28.8%
都市部での生活から離れたくないから	76	25.8%
郊外に移住すると不便なことが多いため	75	25.4%
現在住む地域は、教育・社会福祉・医療などが十分整っているため	55	18.6%
在宅勤務がこのまま続くとは思っていないから	50	16.9%
郊外に引越すための金銭的余裕がないから	50	16.9%
現在の住まいで十分なワークスペースがあるから	45	15.3%
マンションに住みたいが、郊外は物件が少ないから	6	2.0%
その他	7	2.4%
わからない	12	4.1%

- 9) 郊外へ引越す(引越した)際に、在宅勤務に関連して考慮する(考慮した)こと

▶「自分専用のワーキングスペースの確保」47.9%、「業務時間外に気分転換が可能な自然が豊かなところ」46.2%

Q9. 郊外へ引越す(引越した)際に、在宅勤務に関連して考慮する(考慮した)こと(MA) N=169

※Q7で、「すでに郊外への引越しを実施した」「現在、郊外への引越しを検討している」「できれば検討したいと思っている」を回答した169名に質問

	実数	比率
自分専用のワーキングスペースの確保	81	47.9%
業務時間外に気分転換が可能な自然が豊かなところ	78	46.2%
十分な通信環境が確保できる環境	75	44.4%
敷地・建坪とも、引越し前より余裕のある一戸建て	69	40.8%
通勤時間の短縮を活かして、自分の趣味を楽しめる環境	58	34.3%
仕事とリポートを両立できるワーケーションが可能な環境	55	32.5%
会社への通勤時間を1時間以内	54	32.0%
その他	1	0.6%
特になし	2	1.2%

10) 郊外へ引っ越しする(引っ越しした)際、「移転先の自治体の家賃補助・転入補助などに興味がある」90.6%

▶ 「とても興味がある」44.4%、「興味がある」46.2%

Q10. 郊外へ引っ越しする(引っ越しした)際、移転先の自治体の家賃補助・転入補助などに興味がありますか？(ありましたか？)(MA) N=169

※Q7で、「すでに郊外への引っ越しを実施した」「現在、郊外への引っ越しを検討している」「できれば検討したいと思っている」を回答した169名に質問

	実数	比率
とても興味がある	75	44.4%
興味がある	78	46.2%
あまり興味はない	10	5.9%
全く興味はない	3	1.8%
わからない	3	1.8%

## ■調査概要

・有効回答:660

・調査対象:男女の会社員・既婚者

【男女比】

	実数	比率
男性	473	71.7%
女性	187	39.5%
全体	660	100.0%

【年齢】

	実数	比率
30代	139	21.1%
40代	186	28.2%
50代	335	50.8%
全体	660	100.0%

・調査時期:2021年8月12日から8月19日

・調査地域:東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、茨城県、栃木県、群馬県、山梨県、長野県

【地域】

	東京都	神奈川県	埼玉県	千葉県	茨城県	栃木県	群馬県	山梨県	長野県	全体
実数	234	106	53	48	78	56	30	13	42	660
比率	35.5%	16.1%	8.0%	7.3%	11.8%	8.5%	4.5%	2.0%	6.4%	100.0%

・調査方法:WEB調査

## ◆当社概要

会社名 株式会社LIXIL住宅研究所  
代表者 代表取締役社長 加嶋 伸彦  
本社所在地 〒136-8535 東京都江東区大島2-1-1  
URL 【株式会社LIXIL住宅研究所】 <https://www.lixil-jk.co.jp/>



## ◆LIXIL住宅研究所 概要

住宅及びビル建材・設備機器の製造販売・住宅フランチャイズチェーンの運営など、総合的な住生活関連事業を展開するLIXILの一員です。

住宅フランチャイズチェーン事業の運営を担う企業として、アイフルホーム、フィアスホーム、GLホームの3ブランドを展開し、国内最大級の住宅フランチャイズチェーン事業を展開しています。



【ワーキングスペースの施工事例】 ▶ 施工事例への取材ご希望の方は、広報担当者までお問い合わせください。

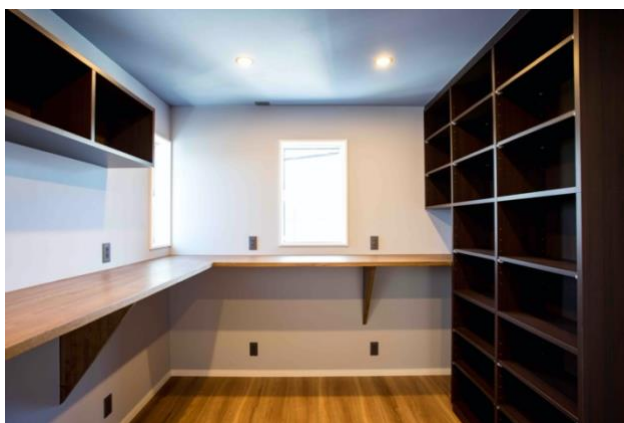
・フィアスホーム ▶ 2階ホールに設置したワーキングスペース(長野県)



・フィアスホーム ▶ 扉を閉めると仕事に集中可能な専用のワーキングスペースに(徳島県)



・フィアスホーム ▶ 『スタンディングワーク』を採用した男の書斎(長野県)



・GLホーム ▶ 中二階に設置したワーキングスペース。仕事をしながら家族を見守ることができます(愛知県)



・GLホーム ▶ こだわりの書斎。まるで海の中にいるかのような深いブルーに包まれた空間(愛知県)



・GLホーム ▶ 円形のワーキングスペース(愛知県)



・アイフルホーム ▶ 書斎と楽器演奏ができる趣味の部屋を兼ねた1室(東京都)

